

第4回 熊本復旧・復興4カ年戦略委員会における委員意見(政策評価)

【分類】A:指標に関する御意見 B:政策評価の記述等に関する御意見 C:新たな御提案等 D:その他

No.	分類	頁	4つの取組みの方向性等	13の施策	具体的な施策	委員意見(概要)	対応・考え方	評価表の修正	担当部局
1	A	1	安心で希望に満ちた暮らしの創造	1	家族や地域の強い絆が息づく地域づくり	①安心して住み続けられる「すまい」の確保 「土砂災害特別警戒区域からの住宅移転数」について、レッドゾーンに立地する現在の住宅戸数はどれほどあるのか。また、今後の対応について、住宅移転とハード整備の割合はどの程度と考えているのか。	レッドゾーン内の住宅戸数は、約2万戸と推定していますが、自然減や新築時の構造規制により減少していくと考えています。 今後の住宅移転とハード整備の割合については、それぞれの事業の特性上あらかじめ設定して進めていくことは想定していませんが、2つを両輪として効果的に推進して参ります。	無	土木部
2	A	1	安心で希望に満ちた暮らしの創造	1	家族や地域の強い絆が息づく地域づくり	①安心して住み続けられる「すまい」の確保 「土砂災害特別警戒区域からの住宅移転数」について、年々移転実績は増加しているが、近年、災害が激甚化している。過疎地域で災害時に孤立しやすい場所に立地している住宅については、重点的に取り組まれるといいと思う。	過疎地域も含め、土砂災害特別警戒区域にある住宅の移転先の相談等について、市町村と連携を強化して対応して参ります。	無	土木部
3	D	1	安心で希望に満ちた暮らしの創造	1	家族や地域の強い絆が息づく地域づくり	①安心して住み続けられる「すまい」の確保 ②家族や地域の絆が息づくコミュニティの創造 県民のライフラインや様々なコミュニティが立派に再生され、安全安心に暮らせる環境を整備できたことは、知事が目指していた「心の復興」をも成就できたのではないかと考える。	被災者の見守りや生活再建支援、コミュニティ形成支援等の取組みについて、「心の復興」につながったと御評価いただいたものと認識しています。 引き続き、被災者が安心した日常生活を送れるよう、一人一人の状況に応じて最後まで寄り添って支援を続けて参ります。	無	健康福祉部
4	D	1 3 5	安心で希望に満ちた暮らしの創造 未来へつなぐ資産の創造 次代を担う力強い地域産業の創造	1 2 4 7	家族や地域の強い絆が息づく地域づくり 安全安心で暮らし学べる生活環境づくり 災害に負けない基盤づくり 競争力のある農林水産業の実現	①安心して住み続けられる「すまい」の確保 ④安心して学業に取り組める教育環境の充実・確保 ①幹線道路ネットワーク等の復旧・強靱化 ①生産を支える基盤の復旧・復興 国道57号線を始め道路網やインフラ等の復旧改善、生産拠点となる農地等の再生、教育施設や住宅の再建等が国の予算を有効に活用し、熊本地震以前を上回る状態として復興できつつあることは素晴らしい成果だと判断できる。	国や市町村と連携して進めてきた、熊本地震からの復旧・復興に向けた取組みが着実に進んでいると評価いただけたと認識しています。 引き続き、被災した道路等の整備を進めるとともに、競争力のある農林水産業の実現に向けて全力で取り組み、また、残りわずかとなった仮設住宅等の入居者の自宅再建に必要な支援を行って参ります。	無	健康福祉部 農林水産部 土木部 教育庁

【分類】A:指標に関する御意見 B:政策評価の記述等に関する御意見 C:新たな御提案等 D:その他

No.	分類	頁	4つの取組みの方向性等	13の施策	具体的な施策	委員意見(概要)	対応・考え方	評価表の修正	担当部局	
5	A	1	安心で希望に満ちた暮らしの創造	1	家族や地域の強い絆が息づく地域づくり	②家族や地域の絆が息づくコミュニティの創造	<p>「地域の縁がわ(同様の活動を行うものを含む)がある地域の割合」については、目標値の100%に達しているが、設置されているかどうかだけではなく、実際に活動しているかどうか、例えば、「一定の活動を定期的に行っている地域の縁側の割合(例えば1週間に1回は何らかの活動をしている)」といった項目にしたらどうか。地域の縁側の設置には至ったものの、その後、人材不足や財源不足から、実際には、活動を停止しているものもあると聞いている。</p>	<p>地域の縁がわについては、週1回程度の活動を行っている団体に対し、登録を促しているため、一定頻度で定期的に活動していると考えています。</p> <p>県では、活動を継続してもらうため、相談窓口を設置し、団体相互の情報交換会・研修会を開催することで、団体の運営を支援しています。また、活動費の助成も行っています。</p> <p>団体が活動を継続できるよう、引き続き支援及び普及啓発を行って参ります。</p>	無	健康福祉部
6	A	1	安心で希望に満ちた暮らしの創造	1	家族や地域の強い絆が息づく地域づくり	②家族や地域の絆が息づくコミュニティの創造	<p>「地域の縁がわ(同様の活動を行うものを含む)がある地域の割合」では目標値を達成しており、人との交流を目的にしたこの活動は地域に定着しているよう見える。しかし、現在のコロナ禍において従来通りの方法では活動に困難を来しているのではないかと危惧する。新しい方法での交流方法のアドバイスも必要になってくると思う。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、多くの団体が活動を休止・縮小している状況です。</p> <p>一方、このような状況下においても地域福祉活動の再開・継続等を支援する必要があります。</p> <p>県では、感染防止対策を講じ活動する団体のみを助成対象とし、また、感染防止に係る費用も助成対象とするよう、支援内容を見直しました。</p> <p>また、感染予防を講じた活動の方法を周知するため、相談窓口でアドバイスをを行っています。さらに、その方法を分かりやすく説明するDVDの作成及び貸出しを検討しています。</p>	無	健康福祉部
7	A	1	安心で希望に満ちた暮らしの創造	2	安全安心で暮らし学べる生活環境づくり	③男女が共に支え合う働きやすい環境の確保	<p>「女性の社会参画加速化自主宣言または女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定を行った事業所・団体数」という指標があるが、女性活躍については、女性活躍推進法も制定され、いまや国家的な重要政策課題である。女性活躍が、施策2「安全安心で暮らし学べる生活環境づくり」にあるのはなじみにくいのではないかと。「女性が生き生きと活躍できる社会づくり」などという施策を設ける方が良いのではないかと。さらに、「指導的地位を占める女性の割合を25%にする」(ちなみに国の目標は30%)といった具体的な目標値を掲げたほうが、目指そうとする目標がはっきりするのではないかと。</p>	<p>委員御意見のとおり、現在、男女共同参画社会づくりに向けた主要施策として、国・県ともに女性活躍推進法に基づく施策に取り組んでいるところですが、これまで、安心して暮らし続けられる環境づくりの一環として、ワーク・ライフ・バランスの確保など「男女が働きやすい環境整備」を進めてきたことから、施策2「安全安心で暮らし学べる生活環境づくり」に位置付けています。</p> <p>今後は、御意見や国の動向等も踏まえ、施策や指標の見直しについて検討して参ります。</p>	無	企画振興部 環境生活部

【分類】A:指標に関する御意見 B:政策評価の記述等に関する御意見 C:新たな御提案等 D:その他

No.	分類	頁	4つの取組みの方向性等	13の施策	具体的な施策	委員意見(概要)	対応・考え方	評価表の修正	担当部局
8	A	1	安心で希望に満ちた暮らしの創造	2	安全安心で暮らし学べる生活環境づくり	④安心して学業に取り組める教育環境の充実・確保 「全国学力・学習状況調査で全国平均を上回った項目数」については、目標とは程遠く、しかも、年々数値が悪くなっている状況である。教育県熊本を取り戻すために、その原因や対策を考えてみる必要がありそうである。	<p>主な原因は、授業や家庭学習への主体的・意欲的な取組に課題があること、地域間で格差があること、中学校が全国平均に比べて低いことなどと考えています。</p> <p>これに対し、対策は3点です。</p> <p>1点目は、R1年度から新しい熊本県学力・学習状況調査を導入しています。教師の授業改善に役立つ詳細な分析結果と、子どもの主体的な学習を促す一人一人の課題に応じた個人票や学習プリントを提供しています。</p> <p>2点目は、R1年度策定した「熊本の学び推進プラン」に基づく学力向上の取組みです。どの地域で学んでも必要な学力を身に付けられるよう、子どもが意欲的に取り組む授業や家庭学習のあり方等を示しています。本プランを周知する研修を、教育事務所等と連携して各地で実施することで教員の指導力向上を図り、学力向上を目指します。</p> <p>3点目は、R2年度に設置した学力向上推進本部です。県・市町村教育委員会、小中学校校長会の各代表等で構成しています。学力向上に向けた取組みについて協議し、県全体で一体となって効果的かつ組織的な学力向上を図ります。</p>	無	教育庁
9	D	1	安心で希望に満ちた暮らしの創造	2	安全安心で暮らし学べる生活環境づくり	④安心して学業に取り組める教育環境の充実・確保 先生方が各教科の面白さを子どもたちに伝えられているか、「学ぶ喜び」「(「分かる」、「できる」喜び)を子どもたちが実感できているかが気になる。 先生方が教材研究に十分時間を費やすことができ、理解が十分でない子どもには授業以外でも時間を割いて教えるような余裕が必要ではないかと思う。 そのための教職に就く人材の十分な確保と、スクールサポートスタッフの拡充に手を尽くしているのは承知の上だが、重ねてお願いしたい。	<p>教員の確保のために、大学等で行う教員採用選考者説明会の訪問大学を従来より増やし、小中併願など選考方法の工夫改善を行っています。また、大学生等に対し、小中学校での学習支援など児童生徒と関わる場を設定して募集するなど、大学との連携を強化し、広報活動を充実させています。</p> <p>また、R1年度から、教員の負担軽減を目的として事務作業等の支援を行うスクールサポートスタッフを配置しています。R2年度は、小中学校に配置している18名に加え、新型コロナウイルス感染症対応として、さらに281名配置したいと考えており、9月末までに109名任用予定です。</p> <p>今後もこれらの取組みを推進し、教員が指導や教材研究等に注力できる環境づくりを進めて参ります。</p>	無	教育庁
10	A	1	安心で希望に満ちた暮らしの創造	2	安全安心で暮らし学べる生活環境づくり	④安心して学業に取り組める教育環境の充実・確保 「ひとり親家庭等を対象にした地域の学習教室の開所数・利用する子どもの数」が目標を上回るほど順調に成果をあげたと思う。現状では生活困窮が更に深刻になっていると聞く。経済支援を含めた生活支援の施策も更に必要ではないかと考える。	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ひとり親世帯が大きな影響を受けていることを踏まえ、県では、生活支援給付金の支給や、県ひとり親家庭福祉協議会が県内各地で実施しているひとり親世帯を対象とした食料配布事業への支援を予定しています。</p> <p>また、ひとり親家庭の保護者が悩みを抱え地域で孤立しないよう、地域の学習教室で気軽に相談できる場所を提供する予定です。</p> <p>引き続き、熊本県ひとり親家庭福祉協議会や関係団体と連携し、ひとり親世帯の支援に取り組んで参ります。</p>	無	健康福祉部

【分類】A:指標に関する御意見 B:政策評価の記述等に関する御意見 C:新たな御提案等 D:その他

No.	分類	頁	4つの取組みの方向性等	13の施策	具体的な施策	委員意見(概要)	対応・考え方	評価表の修正	担当部署
11	A	1	安心で希望に満ちた暮らしの創造	2	安全安心で暮らして学べる生活環境づくり	④安心して学業に取り組める教育環境の充実・確保 「ひとり親家庭等を対象にした地域の学習教室の開所数・利用する子どもの数」については、「学力」とは反対に、達成率が1.5倍から2倍近くになっている。これは、目標達成ということだけでなく、むしろ、格差拡大、貧困の増大という現象が目標をはるかに超えた数字に現れているとみた方がよいように思う。 次期政策の中には、子ども食堂も含めて、子どもの貧困、学習支援といった政策に力を入れることの必要性和、その数値目標の設定の仕方にも工夫がいるように思われる。	R2年3月に策定した「くまもと子ども・子育てプラン」は子どもの貧困対策に関わる計画を兼ねており、生活保護世帯・生活困窮世帯やひとり親家庭等の子どもに対する学習支援や、子ども食堂等の民間団体との協働による見守り活動の強化等に取り組むこととしています。 次期基本方針においても、学習、食事、居場所づくりなどで重要な役割を果たしている地域の学習教室や子ども食堂の取組みの拡充を図るとともに、ひとり親世帯の子ども等の現状を踏まえ、事業の必要性や適切な数値目標の設定について検討して参ります。	無	健康福祉部
12	A	2	安心で希望に満ちた暮らしの創造	3	あらゆる状況に備える医療・福祉提供体制の構築	①医療・福祉提供体制の回復・充実 「地域包括ケアシステムの構築」は、医療・福祉分野ではいま最大の政策目標となっている。在宅で療養する高齢者・障がい者で、病院等に通院できない人たちにとっては、在宅医療は不可欠のはずである。 医療機関が多数ある市部と、産山村、五木村などの診療所が1か所しかないところでは、在宅診療の回数等は違うが、実施できていない残りの市町村では在宅医療は全く実施されていないのか。その町の診療所からは在宅診療がなくても、隣の市にある病院から在宅診療を受けている場合は、その町での在宅診療があったとみるのか。 この指標では、どういふことをどの程度実施すればその市町村での在宅診療があったとみるか等をはっきりさせておく方がよいのではないかと。これだと、全く在宅診療をしていない市町村があるように受け取られてしまうのではないかと。 「医療・介護・予防・住まい・生活支援の一体的な提供に不可欠な3つの取組みの全てを行う市町村数」では、基準となる3つの取組みの中に、①在宅医療と介護の連携の項目があり、これを満たしている市町村は45(全市町村数)とあるから、結局、全ての市町村が在宅医療を行っているということではないのか。	住民がより身近な地域で在宅医療を受けることができる状況が整っているかを測るため、「在宅療養支援病院(在支病)及び在宅療養支援診療所(在支診)のある市町村数」を指標として設定しました。 しかし、医療機関がない市町村もあることや、在支病や在支診の届出を行っていない市町村でも訪問診療に取り組む病院・診療所もあります。 県では、全ての二次医療圏域に在宅医療サポートセンターを設置するなど、関係機関と協力しながら在宅医療の推進に向けた取組みを進めてきました。 このような取組みの成果もあり、在支病や在支診以外の病院・診療所による訪問診療が提供されている市町村や、近隣市町村の在支病や在支診による訪問診療の提供が可能である市町村を加えると、全市町村において訪問診療を受けることができる状況になっていると考えています。	無	健康福祉部
13	A	2	安心で希望に満ちた暮らしの創造	3	あらゆる状況に備える医療・福祉提供体制の構築	①医療・福祉提供体制の回復・充実 全国的にみれば、熊本県の介護職員数は目標値には達していないとはいえ、不足数は少ない方である。 ただ、これは介護職員の「量」を目標にしているが、同時に「質」も問題となっている。 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員(ケアマネージャー)等の有資格者の数を増やすことも大事なので、次期基本方針の政策目標に、「介護における有資格者の割合」のような指標を入れるのはどうか。	県も、有資格者を増やし、介護の質を確保していくことは非常に重要であると認識しており、国家資格取得のための修学資金の貸付けや潜在的有資格者の再就職支援等に取り組んでいます。 一方、介護人材が充足していない状況下においては、高齢者や外国人を含む多様な人材の参入促進など、すそ野を広げる取組みも併せて行っていく必要があると考えています。 委員御意見を踏まえ、多様な人材が活躍する介護現場の実状を考慮しながら、介護サービスの質の向上を測る指標設定について、検討して参ります。	無	健康福祉部

【分類】A:指標に関する御意見 B:政策評価の記述等に関する御意見 C:新たな御提案等 D:その他

No.	分類	頁	4つの取組みの方向性等	13の施策	具体的な施策	委員意見(概要)	対応・考え方	評価表の修正	担当部署
14	C	2	安心で希望に満ちた暮らしの創造	3	あらゆる状況に備える医療・福祉提供体制の構築	①医療・福祉提供体制の回復・充実 コロナ禍において、単独自治体では検査や入院対応が困難な場合に近隣自治体との協力、連携体制がとれるようになってきているのか。今後も未知の感染症等が発生した場合の対応を考えておく必要があると思う。	検査については、県及び熊本市が主体となり実施していますが、九州各県等とも連携がとれる体制を整備しています。また、より身近な地域で迅速に検査が受けられるよう、地域外来・検査センター設置等の支援にも取り組んでいます。 入院対応については、まずは県内受入体制の充実を図っているところですが、隣県との連携についても、協議・検討を行って参ります。	無	健康福祉部
15	C	2	安心で希望に満ちた暮らしの創造	3	あらゆる状況に備える医療・福祉提供体制の構築	③安心した出産・子育てができる環境の確保 子どもが生まれると生活は一変する。泣いている子どもが望むことを察知し、要求を満たしてあげることが最優先課題になるからである。それでも決まった時間までに済まなくてはならない家事は存在し、活動は子どもが眠っている時間内に限られている。自分のペースで物事を進められないことに私も苛立ちを感じた。 男性も職場では育児を理由とした就業調整が簡単にはできず、仕事と家庭生活のバランスをとることに対するストレスを抱えている。ブライツ企業の認定に、企業による男性の育児休暇取得推進は含まれているのか。もしなければ検討いただきたい。 医療費の助成があることも安心して子育てができるための一要因になると思うが、できれば高校生まで全市町村で実施していただきたい。	ブライツ企業の認定の審査項目として「直近1年間における育児・介護に係る休暇、短時間勤務制度の利用の有無」を設け、男女それぞれの制度利用者数を確認しています。委員御意見の点につきましては、今後検討して参ります。 医療費については、全市町村において中学3年生以上の助成を実施しており、うち26市町村が高校3年生まで助成しています。県も、市町村の財政負担の軽減のため、その一部を助成する制度を設けています。 一方、このような制度は、自治体の財政力の違いにより差異が生じることは望ましくなく、本来、国として全国統一に取り組みべきであると考えており、制度の見直しを国に働きかけているところです。	無	健康福祉部 商工労働部
16	A	3	未来へつなぐ資産の創造	4	災害に負けない基盤づくり	④防災体制の充実・強化 自主防災組織について、組織化や基本的な活動は順調にしていると思うが、実際の災害時に機能するための規模や役割、組織間の連携等についても検討する時期に来ていると思う。	令和2年7月豪雨の際に、自主防災組織や自治会などによる近隣住民への声掛けをはじめ、避難支援や救助活動など、地域における共助の取組みにより命が救われたという報告が多数ありました。 今後はこうした実際の対応や教訓等を活かし、これまで以上に実践的な役割や連携を意識しながら、自主防災組織や地域防災リーダーの育成及びスキルアップに取り組んで参ります。	無	知事公室
17	A	3	未来へつなぐ資産の創造	4	災害に負けない基盤づくり	④防災体制の充実・強化 避難行動要支援者に対する避難支援計画(個別計画)については全市町村で策定済だが、実際の災害の際に実行可能か検証する必要があると思う。いくつかの災害シナリオの下でシミュレーションしてはどうか。	当該計画については、実効性の向上のために、防災訓練等において、避難行動要支援者名簿を活用した安否確認や、計画に沿った避難支援を実際に行うよう全市町村に働きかけています。 実際、避難行動要支援者を交えた避難訓練や、訪問による安否確認訓練等を実施している市町村もあります。 災害別の取組事例等の情報共有や意見交換会の開催などにより、計画の実効性が高まるよう、市町村の取組みを支援して参ります。	無	健康福祉部

【分類】A:指標に関する御意見 B:政策評価の記述等に関する御意見 C:新たな御提案等 D:その他

No.	分類	頁	4つの取組みの方向性等	13の施策	具体的な施策	委員意見(概要)	対応・考え方	評価表の修正	担当部局
18	A	3	未来へつなぐ資産の創造	4	災害に負けない基盤づくり	④防災体制の充実・強化 全市町村が避難行動要支援者に対する避難支援計画(個別計画)の策定を終了しているようだが、災害の度にどのように機能したか、否かの検証結果はあるのか。	当該計画については、熊本地震の際に、概ね3カ月間の対応に関する検証を行いました。 この検証から、計画が未作成・未活用により在宅の高齢者や障がい者の円滑な支援が困難な市町村があった等の結果が得られました。 これを踏まえ、市町村と意見交換会等を実施し、計画の策定・見直し等を推進してきましたが、今後も引き続き、市町村を支援して参ります。	無	健康福祉部
19	A	3	未来へつなぐ資産の創造	4	災害に負けない基盤づくり	⑤防災の「知」の集積と「記憶・記録」の継承・発信 熊本地震デジタルアーカイブについて、目標の収集件数は達成しているため、今後の活用方法について検討をお願いしたい。特に震災ミュージアムの中でどのような役割を果たすのか検討いただきたい。	熊本地震震災ミュージアムの体験・展示施設(仮称)において、熊本地震デジタルアーカイブに搭載されている写真、動画等を熊本地震の記憶や教訓を伝える展示物として活用するよう、同施設の展示設計業務を通じ、検討を進めて参ります。 また、市町村に対しても、引き続き、デジタルアーカイブの更新情報などを共有し、その活用を呼びかけて参ります。	無	知事公室
20	D	3 7	未来へつなぐ資産の創造 世界とつながる新たな熊本の創造	5 12	地域の特性を活かした拠点・まち・観光地域づくり 空港・港の機能向上によるアジアに開くゲートウェイ化	⑥交通結節点の拠点性向上 ①「大空港構想NextStage」に基づく阿蘇くまもと空港の復旧・機能拡充 熊本駅周辺の再開発や熊本空港へのJRIによる軌道延線計画の決定等は将来熊本県全体に大きな経済的浮揚をもたらすことになると期待される。	熊本駅周辺の再開発については、県全体に大きな経済的浮揚に資する交通結節点等の整備を、関係市町村と連携して引き続き取り組んで参ります。 空港アクセス鉄道については、R1年度から実施している概算事業費や需要予測等の詳細調査を継続して実施するとともに、有識者等からなる検討委員会を新たに設置して幅広く意見を伺うなど、県民から一層の理解を得られるよう検討を進めて参ります。	無	企画振興部 土木部

【分類】A:指標に関する御意見 B:政策評価の記述等に関する御意見 C:新たな御提案等 D:その他

No.	分類	頁	4つの取組みの方向性等	13の施策	具体的な施策	委員意見(概要)	対応・考え方	評価表の修正	担当部署	
21	D	3 5 6	未来へつなぐ資産の創造 次代を担う力強い地域産業の創造	5 8 9 11	地域の特性を活かした拠点・まち・観光地域づくり 県経済を支える企業の再生・発展 自然共生型産業を核としたオープンイノベーション機能の確立 地域を支え次代を担う人材確保・育成	⑧移住・定住の促進 ①地域に根差す中小・小規模企業の事業再建と経営力強化 ①復興の原動力となる新たな事業の創出と起業の促進 ③若者の地方定着等の促進	世の中は大変革期に入っており、リアルとオンラインのバランスや働き方、生活様式など日々変動しながらニューノーマル(新常态)の形成に動いている。デジタル化が進み今までは違った世界が形成されるので、指標も変わってくる。それは地方にとって有利な面も出てくる。今一度、熊本の魅力、産業の在り方、人材の育成、そして人々の幸せの形を再設計してコロナ後の豊かな熊本を実現していくことが必要のように感じる。産業に関しては、デジタル化は熊本県の主要産業である半導体産業及びそのサプライチェーンには追い風であり、地域企業の当該産業への連携拡大が急務である。またSDGsを起点に地域社会の困り事解決を新しいビジネスにつなぎ持続可能な社会を作る産業の育成も望まれる。教育に関しては、物事に興味を持ち、解る楽しさを引き出すような学びの場を産業界と連携して創出することも必要だと感じる。地元を愛し地域貢献をイメージできる人材育成が必要である。デジタル化は日常生活の考え方も働き方も変える。熊本への移住を受け入れる環境を整えとともに魅力ある産業と教育の育成を進めることが重要である。	コロナ禍により社会のデジタル化が急速に進展し、半導体産業の成長が見込まれるため、誘致企業と地場企業の連携促進等に取り組み、県内産業の更なる成長につなげて参ります。また、SDGsの視点に基づく地域社会の課題解決やまちづくりに貢献するコトづくりを進め、力強い産業を創造して参ります。専門高校生が、地域社会や産業界と連携・協働して、地域課題解決のために取り組む商品開発等を支援しており、矢部高校が開発した商品がふるさと納税の返礼品として採用されました。今後も、地域社会や産業界と連携し、専門性(知識・技術)、課題解決力、主体的行動力のある人材育成に取り組んで参ります。コロナ禍により都市部から地方への移住が加速するとみられています。この流れを的確に捉え、新たな生活様式に即した移住定住施策に取り組んで参ります。また、移住先として選ばれるため、産業や教育を含め、引き続き熊本県の魅力向上に努めて参ります。	無	企画振興部 商工労働部 教育部
22	A	4	未来へつなぐ資産の創造	6	くまもとの誇りの回復と宝の継承 ②阿蘇の草原など自然・景観の再生・継承	「景観アドバイザーを活用した景観形成活動・事業」とは、具体的にどのようなもので、どのような効果が見られたのか。	県民や事業者(市町村等を含む。)が、建築やデザイン・色彩、景観まちづくり等の景観の専門家のアドバイスを基に、景観に配慮した事業や、地域における景観まちづくりの活動を行うものです。これを通じて、例えば、観光案内標識の統一化や、阿蘇駅前無電柱化の範囲指定が実施されるなど、良好な景観形成につながっています。	無	土木部	

【分類】A:指標に関する御意見 B:政策評価の記述等に関する御意見 C:新たな御提案等 D:その他

No.	分類	頁	4つの取組みの方向性等	13の施策	具体的な施策	委員意見(概要)	対応・考え方	評価表の修正	担当部署	
23	C	5	次代を担う力強い地域産業の創造	7	競争力のある農林水産業の実現	<p>①生産を支える基盤の復旧・復興</p> <p>③農業生産力の回復・競争力の更なる強化</p> <p>④サプライチェーンの強化と県産農林水産物等の認知度向上</p>	<p>「認定農業者や地域営農組織等へ集積する農地面積」や「主要な農産物(水稲、大豆、野菜、果樹)における10aあたりの収量」が着実に進んでいる様子であり、今後も農業生産の増加に繋がる事を期待する。</p> <p>また、「農林水産物の輸出額」が増加していることは喜ばしいが、食糧自給率は低下する一方であることを危惧している。県では自給率アップにつながる消費者への啓発と事業が更に必要と考える。</p>	<p>更なる生産性向上に向け、全国に先駆けて取り組んできた農地集積、新たな品種や栽培技術の開発等に引き続き取り組んで参ります。</p> <p>また、農林水産物の輸出についても、今後もしっかりと取り組んで参ります。</p> <p>県産農林水産物の消費の啓発については、H21年に制定した「くまもと地産地消推進県民条例」に基づき、引き続き「地産地消サイト」での情報発信や消費促進等を推進して参ります。</p>	無	農林水産部
24	D	6	次代を担う力強い地域産業の創造	7	競争力のある農林水産業の実現	<p>③農業生産力の回復・競争力の更なる強化</p>	<p>果樹農家の方から、隣県では地球温暖化に伴う気温の上昇に適応した新しい作物の栽培を県の主導で補助金を交付し模索しているのに対し熊本県ではそのような対策がとられていないという話を伺った。</p> <p>その方はこれまで自費で高価な苗を購入栽培し、試行錯誤を繰り返している。</p> <p>県として、何らかの対策はとられているのか。</p>	<p>県では、農業研究センターにおいて、品種の改良や栽培管理試験を実施し、気候温暖化に対応できる技術開発を行うとともに、その普及や導入支援を行っています。</p> <p>今後も生産現場の意見や要望を踏まえて気候温暖化に対応できる技術開発及びその普及等に取り組むことで、農家を支援して参ります。</p>	無	農林水産部
25	C	6	次代を担う力強い地域産業の創造	10	地域資源を活かす観光産業の革新・成長	<p>①観光産業の革新と高付加価値化</p>	<p>R2年10月開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった九州ブロック協議会くまもと大会の広報活動に県観光物産課のPR動画を使用した。</p> <p>この動画は、一県民である私にとって熊本にはまだまだ訪れたことのない魅力的な場所が多々あることを知ると同時に、これ程自然豊かで美しい土地で暮らせていることに対する感謝と誇りを感じさせるものであった。</p> <p>動画にナレーションや文字は不要である。ただただ美しい風景に涙が出た。</p> <p>是非YouTubeなどで更なる情報発信を県内外、国外に向けて行っていただきたい。</p>	<p>委員御紹介の動画は、インバウンド向けに制作したもので、ナレーションや字幕が無く、視覚だけで感じる事ができる動画となっています。</p> <p>動画は複数本存在し、YouTubeにも配信されており、全てを合わせると400万回以上再生されています。</p> <p>県では、従来型の紙媒体中心のプロモーションに加え、動画サイトやSNS等を活用したデジタルプロモーションに積極的に取り組んでいるところです。特に新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、個人のWEB視聴時間が伸びる中、広く熊本の魅力をアピールするために、デジタル媒体の活用が有効な手段であると考えています。</p> <p>引き続き、様々な手法によるプロモーションにチャレンジしつつ、効果的な情報発信に努めて参ります。</p>	無	観光戦略部

【分類】A:指標に関する御意見 B:政策評価の記述等に関する御意見 C:新たな御提案等 D:その他

No.	分類	頁	4つの取組みの方向性等	13の施策	具体的な施策	委員意見(概要)	対応・考え方	評価表の修正	担当部局	
26	A	6	次代を担う力強い地域産業の創造	10	地域資源を活かす観光産業の革新・成長	①観光産業の革新と高付加価値化 ②観光資源の再生と新たな魅力の創造による観光振興	順調だった観光産業に関する指標について、R1年度の実績値が目標に達していないのはコロナの影響であったのか。マイクロツーリズム*が提唱されているように、県民や近県の人が熊本の魅力を再発見する機会になり、定着することで安定的に継続することになるのではないかと思う。 *地元又は近隣への宿泊観光や日帰り観光のこと。	お尋ねの実績値については、H31年1月～R1年12月のものであり、目標達成に至っていない要因としては、日韓関係の悪化等国際情勢の影響が挙げられます。 新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、人と人とのつながりや接し方など生活スタイルが大きく変容する中、マイクロツーリズムを含めた新たな観光スタイルの確立をはじめ、今後の観光戦略を十分に検討し、施策へ反映して参ります。	無	観光戦略部
27	A	6	次代を担う力強い地域産業の創造	10	地域資源を活かす観光産業の革新・成長	②観光資源の再生と新たな魅力の創造による観光振興	宿泊数以外に、新規ツアーの取組数や、DMOなどでのツアー紹介数の実績なども指標として測れないか。	観光の地域経済への波及を重視し、宿泊を伴う場合の観光消費額が大きいことに着目して、延べ宿泊数を指標に設定していたところで 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光業を取り巻く環境が大きく変化する中、地域の魅力を活かした観光(旅行)商品づくり等により、更に「選ばれる熊本」となれるよう、新たな指標の設定についても検討して参ります。	無	観光戦略部
28	C	6	次代を担う力強い地域産業の創造	11	地域を支え次代を担う人材確保・育成	③若者の地方定着等の促進	「ブライ企業一覧」と「ハローワーク求人」を見比べたが、リンクさせれば活用しやすいように思う。	求人票や自社HPの求人募集ページにブライ企業である旨を明記してもらうなど、ブライ企業であることを効果的に発信してもらえるよう、企業に働きかけて参りたいと考えています。	無	商工労働部
29	D	7	世界とつながる新たな熊本の創造	12	空港・港の機能向上によるアジアに開くゲートウェイ化	①「大空港構想NextStage」に基づく阿蘇くまもと空港の復旧・機能拡充 ②熊本港・八代港の海外展開拠点化	熊本空港のコンセッションや八代港の整備等、世界につながる拠点が構築できたことは高く評価されるべきであると考えている。	阿蘇くまもと空港については、コンセッション導入が順調に進み、R2年4月に熊本国際空港(株)による空港運営が開始されました。県としても、出資・取締役派遣による空港運営への参画をはじめ同社との連携関係を構築しており、今後も、空港の活性化の効果を様々な分野に波及させるよう努めて参ります。 八代港についても、引き続きクルーズ船の誘致や利活用促進に取り組んで参ります。	無	企画振興部 土木部

【分類】A:指標に関する御意見 B:政策評価の記述等に関する御意見 C:新たな御提案等 D:その他

No.	分類	頁	4つの取組みの方向性等	13の施策	具体的な施策	委員意見(概要)	対応・考え方	評価表の修正	担当部署
30	A	7	世界とつながる新たな熊本の創造	12	空港・港の機能向上によるアジアに開くゲートウェイ化 ②熊本港・八代港の海外展開拠点化	クルーズ船寄港数について、H29年度をピークに年々減少し、さらにR2年度はコロナ禍で実績はゼロだと思う。今後国際クルーズ船をとり巻く環境は激変すると考えられるが、どのような戦略を取ろうとしているのか。	コロナ禍における入国制限等により、当面は国際クルーズ船の寄港は困難な状況ですが、一時的なものと考えています。 船会社等とオンライン会議で信頼関係を維持するとともに、観光情報を効果的に発信するなど、運航再開後の寄港先として本県を選んでもらえるよう取り組んで参ります。 また、国が示す予定のクルーズ船受入れに向けたガイドライン等に沿って、クルーズ客を安全に受け入れられるよう、体制を整備して参ります。	無	観光戦略部 土木部
31	D	—	—	—	—	指標について、多くの項目で「達成」若しくは「上向き」の成果を導き出したのは、まさに県庁職員の皆様が大変な努力と苦労を重ねながら取り組んできたことの現れであり、県民の一人として感謝している。 知事をしっかりと支え、くまモンのように楽しく前向きに仕事をした故の成果だと考える。 今後、県内に「よかボス」宣言企業が沢山生まれ、明るい職場が増えることで、県内に就職する若者が増加していくことになると思う。そのモデルが県庁マンの皆様だと思う。 今後も県民のためにご尽力いただくよう期待している。 *「よかボス企業」… 代表者が、社員の仕事だけではなく、結婚や子育てなど生活の充実を応援する「よかボス宣言」を行った企業や団体のこと。	「よかボス企業」は、R2年8月末現在で、525社、社員・従業員・団体員数は6万人超となっており、県庁においても、毎年度所屬長が「よかボス宣言」を行い、職員の仕事と生活の充実を応援しています。 「よかボス企業」を対象にしたアンケート調査では、「よかボス宣言」をしっかりと実行している会社の80%以上が、会社が「良くなった」「変わらず良い」と回答しており、引き続き、取組みを推進して参りたい。	無	企画振興部 健康福祉部
32	C	—	—	—	—	県内の定住人口の増加については、将来の熊本県にとって極めて重大な課題の1つだが、残念ながら好転させることができなかった。少子高齢化が進展する中、地震からの復旧・復興を優先せざるを得ず、致し方ない結果だと考える。 しかし、創造的復興ができたことは、定住人口増の受け皿として環境整備が整ったとして期待したいと思う。 今後、日本一の優れたデジタル環境を整備し、若者が自由にスタートアップできるような社会体制を構築していただきたい。	今後、ビジネス変革や新ビジネス創出を促進するためには、デジタル技術の活用が重要になると考えられます。 このため、次世代通信技術の導入拡大を含め、デジタル社会に対応した環境整備に向け、官民一体となった取組みが必要と考えています。	無	企画振興部 商工労働部

【分類】A:指標に関する御意見 B:政策評価の記述等に関する御意見 C:新たな御提案等 D:その他

No.	分類	頁	4つの取組みの方向性等	13の施策	具体的な施策	委員意見(概要)	対応・考え方	評価表の修正	担当部局
33	D	—	—	—	—	R2年初めからの新型コロナウイルス感染症への対応、7月の人吉、県南の水害に対応されながら、このような取りまとめをされていることに敬意を表す。全般的には各項目は改善しており、県職員の皆様の努力の賜物と思う。	今後も、熊本地震からの創造的復興、新型コロナウイルス感染症への対応、そして豪雨災害からの復旧・復興に全力で取り組んで参ります。	無	企画振興部
34	A	—	—	—	—	全体として目標値を達成した指標が74(56%)、更なる努力が必要な指標59(44%)という数字は、どのように評価したらよいか。熊本地震があった後の4年間と、その前とは指標の違いもあるから、単純には比較できないと思うが、更なる努力が必要なもののうち、上向きの指標も含めて「概ねよくやってきた」とみてよいのではないか。 「世界とつながる新たな熊本の創造」の分野は、目標を達成した指標よりも更なる努力が必要な指標の数が2倍になっているので、その原因の解明と、指標や項目の再設定といったことを考えてみてはいかがか。	「世界とつながる新たな世界の創造」分野においては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大もあり、今後も厳しい状況が続くと予想され、この状況に適切に対応した取組みを進めていく必要があります。 そのためにも、委員御意見のとおり、「更なる努力が必要な指標」が多くなった原因の解明を行った上で、それを踏まえた取組みを行うとともに、その成果を測る適切な指標等の設定を検討して参りたい。	無	企画振興部
35	A	—	—	—	—	全体的にととも精力的に取り組んでおり、成果も多くみられる。蒲島知事をはじめ、担当部署の皆様の努力に心から敬意を表す。 一方で、「更なる努力が必要な指標」がある割合で残り続けているところが少し気になる。引き続きその達成に向けて取組みを進めていくかと思うが、県としての「具体的な戦略」を立てて進めて頂きたい。	「更なる努力が必要な指標」について、委員御意見を踏まえ、現状や課題をしっかりと把握した上で、具体的な戦略を立てて取り組んで参ります。	無	企画振興部